

## 第7回 高齢者支援ネットワーク懇話会 議事録（要旨）

- 開催日時 平成 24 年 6 月 12 日（火） 午前 10 時 00 分～12 時 00 分
- 開催場所 役場 3 階大会議室
- 出席者 委員～10 名、町～23 名

委員	山瀬 稔	○	石川健吾	×	岩田有子	○	大西恵子	○	岡村省吾	○
	露木芳美	○	林 博六	○	廣部健二	×	松田敷子	○	三栖和之	×
	山本暉人	○	川端孝史	○	山口議史	○				
町	北町長、三本副町長 小澤くらしと財務課長、岩口課長、川股局長、大津課長、加藤主幹、岩部技師 小澤健康ふれあい課長、表施設長、石塚保健師、渡辺主査、鈴木次長 林事務局長、碓井課長、秋葉課長補佐、高橋係長 相澤課長、菊地係長、松本係長、遠藤主査、星野主事、都築主事									

### 1. 開 会（相澤課長）

本日、廣部さんと三栖さん、石川さんをご都合が悪いということで欠席となっています。  
 また、今まで町老連代表ということで河原委員さんに出てきていただいていたのですが、ご都合により、本日より新しく露木芳美さんに委員になっていただくこととなり、町長より露木さんに委嘱書を交付させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 2. 委嘱書交付

北町長から、露木委員へ委嘱書の交付

### 3. 座長あいさつ

みなさんおはようございます。委員の皆さまにおかれましては、何かとご多用の中、ご出席いただきましてことにお礼を申し上げます。また、農協において私達が使っていた施設が解体され何か寂しい思いをしながら、また新しいものが出来るというように期待もしているところです。

本日は地域活性化ホールの平面プランができあがりまして、それぞれ3点ほど議題がありますが、皆さんからの積極的な発言をよろしくお願いいたします。

### 4. 町長あいさつ

大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今お話しがございましたけど、農協の倉庫が少しずつ片付いてまいりました。私も先日拝見しまして、長年見慣れたところですので、座長がおっしゃるとおり何か寂しいような気がしていますが、皆さん方の創意と工夫によって新しいものができるという期待を持っているところです。

さて最近の状況について、ニュース等でみなさんご承知のことと思いますが、節電に関する取り組みで先日、北海道電力奈井江発電所の山崎所長が来庁し、泊発電所の停止に伴う夏の需給状況と合わせて7月23日から9月7日までの節電に関する協力依頼がありました。役場では以前より積極的に節電に取り組み、ご理解をいただいているところですが、計画停電の実施となりますと、住民生活はもちろんのことですが、病院などに大きな影響が出ることとなりますから、少しでも協力できるところは協力していくという方針を持ちながら、全庁的な節電の見直しについて、改めて内部協議を行っていくところです。

次に住電精密の新工場の稼動についてですが、昨年の9月に着工いたしました新工場が5月26日稼動いたしました。起動式には私を始め、住友電工本社から松本社長も参加していただきましたが、設備を含め約20億円の投資をされた新工場では二本の生産ラインが整備されまして、機械をコンピューターで管理し、自動化した最先端の技術を導入することで生産量の増や製造日数の半減が可能されているところです。

翌日には例年開催されている芝桜まつりが行われましたが、今年は高橋知事が会場に駆けつけまして前日にオープンした新工場の視察に来られ、住電精密の中堂社長は奈井江工場は現在の唯一、一貫生産が可能な工場で、この役割を果たすために技術革新が出来る工場が今後も奈井江工場を中心に事業を展開する意向を話されていました。国内の経済状況が未だ先行きの見えない中にあり、奈井江町が誇る企業であると改めて感じたところです。

さて本日の議題につきましては、かねてより皆さんにご議論いただいております、地域活性化ホール平面プランが作成されてまいりました。皆さんからもご意見をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

## 5. 議題 ① (仮称) 地域活性化ホール平面プランについて (碓井課長説明)

(座長) それではただ今、各団体、それから町民の皆さんから寄せられたご意見をもとに細かに図面を作られたということで、説明がありましたが、今回は意見を言う最後の機会ということでもあります。全員からご意見をいただきたいと思ひます。

(岩田委員) 交流エリアでオムツを換える所だとか、授乳室とか、子供達の遊具とかを置く場所を考慮に入れるというご意見も出ているのですが、色々な世代の人が交流できるようになればとてもいいと思っていたので、ぜひ若い人達と年寄りの幅広く利用できるような構想になったらいいなと聞いておりました。

(大西委員) 図面を見てかなりよく考えているなというのがわかりました。現実感がなく、例えば活性化ホールの20の椅子が並ぶというのはすぐ想像できない。お寺の本堂よりもどうなのかなとか、比べながら見ていました。間仕切りすると言っていますが、3人5人でするお葬式の場合は和室を使ったらいいのではないかということがありますし、50人~100人でしたら、仕切らずそのまま使っても椅子だけ片付けておけばいいのではないかなという気がします。食堂については、もう少し厨房と食堂がオープ

ンでもいいのではないかなと思います。壁を棚方式にするとかでうまくつながるのではないかという気もします。備品庫ですが何を入れる備品庫でしょうか。

(碓井課長) ホールの椅子だとかこの辺は面積と椅子の配置と言う部分で例えばということですが、大体寸法でいくとこのような数が配置できますよということで、先程言ったように少なければ少ないなりの使用が出来るし、小さければこの和室で使用は十分可能のように、その設備として例えば脱臭機能だとかはこの中で設定しようと思っていますが、和室にもそのような物もつけて匂いが残らない設備を考えたいと設計業者さんと相談をしているところです。

厨房は、もとは一体的で食堂と流し台をセットにしてということでしたのですが、例えばイベントの時とかということをお話した時に、設計業者さんの方で一つのプランがありまして、作業台をつけると便利ということで、このような図面だったと思うのですが、おっしゃられる通り、ここの壁がいらぬのではないのという話は内部でも話しています。カウンターにするとか棚を作るといいとか色々な方法があるのかなということで、もっと便利な方法があるのかなと思います。

備品は例えば行事などを含めて色々な小物が出てきます。事務的な物も含めてそこが以前の内容では収納するスペースがほとんどなかったです。

事務室はコピー機とか最低限置けるところは必要だという考え方ですが、それ以外にここで使うおもちゃ類だとか、厨房でも食器類が整理できればいいのですが、仮に一年中出しておく必要がなければこの中に保管するだとか、そのようなイメージで小物が出てくるのかなということで、例えばこの中に棚をつけて色々な物が収納できるようになど、用途がまだこれから色々な部分どう使うかが決まってくるので、有効活用したいなという思いです。

(大西委員) 例えば、ふれあいまつりでおでんを出すとか、今までは公民館で作ってそれを運んできて、まつりで売る。それをここで作るとしたらそういうお鍋とかそれなりの色々なものが必要ですね。いつもオープンに出しておかなくて厨房からも出るところがないと不自由ではないかな。置くものによって入り口を工夫することが必要です。

(岡村委員) 町民から出された意見をかなり検討され、取り入れることができたみたいですね。

活性化ホールの椅子は180席になっていますが、ホールロビーとの関係でここにも椅子を置いてという説明がありましたが、ここに椅子を置くと最大収容人数はどのくらいを見込んでいますか。このホールは大体180名程度で、それ以上であれば別の大きな会場を使ってください、と割り切るなら、そういう考えもあっていいかなと思います。

それから今大西さんから出た厨房と食堂との関係で、厨房の位置づけなのですが、公民館の実習室で男の料理教室をやっていますが、そのくらいのスペースで利用目的を考えた厨房なのか、位置づけをきちんとしておいた方がいいのかなと思います。

最後に、この活性化ホール施設の管理運営をどうするか、という問題かと思うのですが、その点で基本的な考えをきちんと示しておいた方がいいのかなと思います。

(碓井課長) まず1点目のホールの大きさで、基本構想で大体このくらいの240㎡を必要とする根拠が、他の葬儀屋さんにも確認したところ奈井江町の平均的な葬儀の参列者が150人程度ということで、著名人でしたら多くなるのですが、だいたい180人程度収容できる面積があればということです。それ以上の人数となってくる場合には、今までどおり他の施設を利用させていただくということで、この面積をまず確定しました。

ただ色々動線を配備するだとか移動式間仕切など、ここにつけたモノも、このように移動できるというご提案をいただきました。場合によってはここを広げることが出来る。この面積換算でいくと80人はまだ増えるよという形ですね。報徳寺さんが240~250人収容という状況を聞いていますので、大体一番大きい部分はここでクリアできるという思いです。そこを広げる条件として、例えば動線との関係で間仕切りを作るとかドアなどで仕切ることで大きなお金をかけなくても出来るのかなと思っています。

厨房と食堂の関係ですが、もともと食堂は葬儀にもできるし、葬儀ばかりではなく交流サロンも含め、自由に出入りできる空間づくりを考えています。

テーブルや椅子に加えて、イベント時などにも活用できるよう使い勝手のいい、流し台程度の物を置こうということを考えています。

公民館とは別の機能をとということで、今までの事業は既存の施設を活用していただくというようにイメージしています。

管理運営は今、段取りを踏んで進めております。今はとにかく実施設計にあたってこの平面プランを皆さんにご意見をいただいて固め、町・農協・商工会3者で協議を行い、運営についても話し合いを持って行くと思います。

(露木委員) この図面を見ますと、活性化ホールのドアが非常に多いように思うのですが、ホールロビーを歩いている人は、中から開けると危ないのではないかなと思い、これをつり引き戸にするなど考えてもらおうと、ロビーを歩いている人とかにぶつからないですよ。

図書室で列車待ちなどで食堂を利用している時に、葬儀の人たちと食堂は一緒になるのでしょうか。その点がちょっと気になりました。

(碓井課長) 引き戸の関係で、昨日もトイレの部分で狭いスペースの所ではスライドのドアがいいのではないかという話もできました。この辺は普段は全てオープンにしよう思っていますが、そのような所で引き戸の表示になっています。設計業者に相談し、スペース的に可能であれば、より使いやすい方向も考えたいと思いますし、あわせて風除室という冷たい風が入らないようにという設備も考えていますので、その機能を果たすためには、どのようなドアが一番いいのかなど、検討したいと思います。

それから食堂の入り口がかち合うという部分ですが、お葬式をやっている最中はここでドアを仕切り、利用していただくことになっています。その時にはここには移動間仕切りをして、お葬式で利用する際はここを閉め、ない時には全体がオープンにしてお葬式がある時とない時との区別をしながら上手に使える方法はないかと考えております。

(林 委員) 活性化ホールの愛称を何かつける予定があるのですか。それとロビーがあるのですが展示パネルなどを置く予定はあるのですか。

(碓井課長) 正式名称は町の施設をつくる時には設置条例で位置づけるということで、また事務的なことも含めて決めていきたいと思っております。愛称については、これはぜひ町民の皆様にご募集をして親しみやすいものをつけていただければと思っております。

展示はここも重要なポイントで、この施設が色々な意味で町の情報発信の機能を持たせたいという思いがあります。

アンケート調査結果の中で、テレビやパソコンの設置の希望も多々ありましたが、壁に大きなパソコンモニターやテレビを設置して町の企業の情報を流したり、壁などを活用してポスターを貼ったりなど皆さんが自由に有効活用できるスペースについても考えたいと思っております。

(松田委員) 食堂と厨房の壁を取ってカウンターにしたらどうかと思います。カウンターに立つとお互いにやり取りが出来るのではと思います。

また、和室が2つあるのですが、一つの方をフローリングにし、椅子にさせていただいたらどうかと思います。やはり若い人ばかりではなく、お年寄りが入るとなると椅子の方がいいかなと思います。

もし災害がないとも限らないので、出入りは西口ですよね。どこか開くところはあるのか、なければどこかに設置していただきたいと思っております。

(碓井課長) 厨房のあり方の中で、より使いやすい方法としてカウンターの方法もありますし、使いやすい方法として入口も含めて考えたいと思っておりますし、このレイアウトを考えると、先程ご意見があった物品庫との出入口と色々な部分の配慮が出来ると思っております。

和室ですが、ここは古来の和室がいいというのもありますし、出来ればフラットにして段差のない畳ではなく、カーペット敷きの靴を脱いで入るスペースにできないかなと思っております。なかなか下に座ってというのがつらいということもあります。図面は椅子を置いてあるイメージなんですけど、ぜひそのような形でフラットなカーペットスタイルで靴を脱ぐというスタイルにしたいなと思っております。

出入口ですが、今ご提案いただいた、この正面の入口と駐車場サイドからと駐輪場から利用される方もおりますので、ここに一つ、もう一つが北口の3つを図面上で

はおとしている形になっています。

(山本委員) 全体的に見て良くできていると思います。トイレの出入口ですけど、和室の方につけたら人が多いのだからいいのではないかな。

それと、自動販売機が奥の方に置くという説明がありましたが、そうすると自動販売機の稼働率が少し低いのではないかなと。サービスコーナーと付近に置いたほうが利用度が高くなるのではないのでしょうか。

また、車寄せの場所なのですが、この図面によりますと天井の高さが3 m10cm という数字が入っていました。先ほど中型バスと説明がありましたが、この中型、小型、大型のバスというのは定員数で指定されていて寸法には限度がないので、中型バスとなるとエアコンをつけている車は3 m30cmか3 m60cm くらいの高さがある車が多くなってきているので、これは少なくとも3 m80cm 位の高さが必要ではないかと思っています。

(碓井課長) トイレの入口ですが、ここを使う人がぐるりと回るより、まっすぐ入方がいいという色々なご意見もあります。何を優先しようとした時に、動線の関係です。葬儀しているところに一般の人が和室の前を通って歩いていくのが管理上、保安上どうだろうとの思いの中で出来るだけ葬儀の時に接する接点を少なくして入口を共用したらということでの提案となっています。

自動販売機ですが、私も山本さんの意見に大賛成です。やはり来られた方が自動販売機を探すのではなく目に付きやすいところにあって使いやすくあるべきだと思います。

バスの車寄せについては、まだ詰まっていない部分もあり、この寸法になっています。最初はある程度幅広くとって車の入るスペースをとるということから始まりまして、最近では霊柩車は乗用車タイプではなく、バスごと使用される場合もあるとお聞きします。それも確保しなければということで、先程のご説明では中型とご説明をしましたが、今の時代背景がありますので、ご意見を参考にして、10年20年後も対応できるようなものにしたいと思います。

(川端委員) 建物の配置につきましてはお葬式をやるという機能を備えているので、この図面に私は賛成をしております。先ほど席の関係で180席を基本として、壁が広がり200席までいけるということでしたが、180席でもいいのかなという気もしています。意見の中にありましたけど、祭壇を照らす専門の照明というはやはり必要なかなと、色々なお葬式の会場に行きましたら天井が青くなったりしてそういう雰囲気を出してありますので、あるといいかなと思います。

(山口委員) 交流サロンの配置をもう少し工夫してと、昨日の会議で提案させていただきました。あとその時に例えば夏とか大きなイベントがあった場合、外側の方にも入り口をつけ

てホールと外を一体で使えるような使い方も出来るのではないかなという事で提案をさせていただきました。

(碓井課長) 農協さんと商工会という立場で、昨日もご参加をいただいております、ご意見をいただいた内容ですので、その部分は十分配慮しながら進めていきたいなと思います。

(岡村委員) 東側に一つも非常口とかがないのですが、もちろん東側ですからJR函館本線側に避難することはないということであればいいのですが、少し気になりました。設計上無理なのか、どうかと思いました。

(碓井課長) 平面プランということで部屋の配置や実際に使用に関する部分を協議しています。当然ながら消防法とか法律に基づいて非常口など必要な部分は設置をしていく形は当然のことだと思っています。若干高低差が道路にありますので、場合によっては外にどう避難するかの高さ調節とか対応しながらの設備が必要になってくると思います。

(岩田委員) 自動販売機のことですが、ここで缶コーヒーではなくて、病院などにおいてあるドリップ式のコーヒーのセットがあったらいいなと思っています。

(座長) 奈井江町内で葬儀をしたいという町民の願いとしてこのような立派な施設が出来るに当たって、設備や色々な部分で葬儀屋さんとも協議しながら少しでも一人でも多く利用を考えないといけません。

(碓井課長) 平面プランを考えるに当たって色々な情報交換をさせていただいています。設備となりますと実施設計の業者さんも含めて昨今の色々な地域の委託業者さんも含めながら、必要な情報を得ながら考えるべきだろうと思っています。その他照明等は出来る限り情報を得て進めるようにします。

(岩田委員) お寺で人数が増えると第二会場みたいな形でありますよね。そういった構想はないのでしょうか。

(碓井課長) 奈井江町の葬儀の大体の人数を把握する中で大きさを確定したものですから、もしこの人数を超える部分については、もっと大きな所を利用してもらうという想定です。葬儀にはそれなりに設備が必要になってきますので、ある程度ここで集約して出来るということを考えています。

(岩田委員) 身内を亡くした関係上、死は突然やってくるんだなと実感してまして、家族は考える余裕を無くしている中で、葬儀屋さんが来られると、そのままのレールに乗っ

かっていくというのが普通で、それはどうかと思います。やっぱり地元でやるのは楽です。送迎バスが出るにしても、地域で温かく見守っていただいたみたいな感覚が残っているものですから、私の場合はコミュニティ会館で行った結果、良かったなと感じています。

(町 長) 運営面については、出来るだけ町民のニーズを聞きながら、そして使い勝手のいいように配慮しながらつくっていきたいと考えています。

(林 委員) 葬儀する時に会場費というのはどのくらいになりそうですか。

(碓井課長) これからの話で、一般の葬儀屋さんや視察をしてきた浦臼町や月形町で公的に施設を持っているを参考に運営部分を含め、どうあるべきかということを進めていきたいと思っています。

(松田委員) 壁が多すぎるのと葬儀の時はここで閉めるのですが、普段の時にオープンにする場合はプレイルームとか色々な所にドアとかもあるので入りづらいかなと思います。外から見て、ホールに入りやすいような設計にしていただけると、たくさんの方も入りやすいし、設計業者の考えもあるでしょうけど、その辺も色々相談していただきたいと思います。

(碓井課長) 色々なスペースの使い方を含めて利用しやすい部分と言うのを考えていきたいと思っています。

## ②高齢者向け各種団体サービスなどのチラシ作成について（松本係長説明）

(岡村委員) 字が大きくて大変いいのですが、もっとイラストをもう少し大きくした方がいいと思います。

(山本委員) 大きさはこれはA 3ですね、私の考えだとちょっと大きいのではないかな。字の小さい所は大きくするのは構いませんが。

(相澤課長) 大きさを小さくすると、どうしても字が小さくなったりしてしまいます。

(岩田委員) 配布の方法で、回覧板で各自お取り下さい、だと余ってしまいます。確実に行き渡るような方法で、区長さんや班長さんがちょっと申し訳ないけど各戸に配ってみたいな注釈をつけるなりしてほしい。介護や健康づくりにも土日祭日休みとか入るのですか。



(相澤課長) 僕は休むと思っていますので、字とかもあまり多くない方がいいのかなと思って  
したのですが、あった方がいいですかね。

(露木委員) お願いなのですが、東町で春に同じ生活館でホールと座敷に別れて健康づくりの話  
と介護の話と、また、その日はバスでお風呂に行く日でした。同じ会館の中での重なっ  
た行事に、どちらに行ってもいいかわからない。

健康づくりの長谷川先生が来られるのですが、木曜日で必ずお風呂の日なのですよ。  
そのところを配慮いただきたい。

(岩田委員) チラシの作成に関わって、なかなかお買物を行けないような人が、例えばマグロの  
お刺身が食べたいと思った時に電話で聞いて配達してくれるような制度というのは  
なかなか難しいものでしょうか。

お買物のお手伝いとか、いしかわ花屋さんはお花を注文すると農協でお買物をして  
届けてあげるとい制度があるのですが、そうではなく病気で介護の指定は受けてい  
ないが、買物に行かなくて、とか生鮮食料品を電話で受けて配達しているような制  
度があったらすごく助かると思いました。

朝何時まではその日の受付で、生鮮食料品を4時までにお届けすることが出来ると  
いうようなことがあったら本当に助かると思います。民生委員として活動していて感  
じたことの一部です。

(相澤課長) 昨日の町民委員会である方から一品からというのは難しいのだろうけど、いくら以  
上の買物だと宅配してくれたら助かる、という意見がありました。そのようなことも  
商工会さんとも改めて相談させてもらえたらと思います。

(岩田委員) 記入するのも少し難しくなってくるので、電話注文であればいいですね。

(相澤課長) 本当は家から出てきてもらって買物をしてもらうのが一番いいのだろうと思うので  
すが、それはまた相談をさせていただきます。

### ③災害時要援護者避難支援制度について（菊地係長説明）

(岩田委員) 登録の対象となる方の①の65歳以上の高齢者ということで、地域や区全体で取り  
組んで考えるとしたら、隣組制度のようにうちが隣の人に支援をお願いするという考  
え方なのか、または65歳以上の高齢者を基本に、介護になっているような人、心身  
障害のある人、自力で非難することが困難な人、例えば病院なんかで車椅子とかその  
ような人達は救護の対象として赤丸①②とかつけていくじゃないですか。だから地域  
でも優先順位で、この方は絶対登録の対象になるなど。歳だけでいくとこの1番は災  
害の名簿の対象になるのでしょうか。

(相澤課長) 一つの目安として 65 歳以上と書いてあるんだとご理解いただけたらいいかなと思っています。一番重要な所は④の所だと思っています。

(山本委員) 今ほどの説明でこの活動を去年の 11 月からスタートして、届出が出てるのが 30 名程度なのですか。

(相澤課長) 東町はわりと出していただきました。

(山本委員) 東町では制度を充実させようと思い、連合区として各区長にお願いして、個別訪問で確認を取ってもらい、各区で民生委員にやってもらったり、区長が一生懸命やってくれているけどなかなか思うようにいかないところもあります。

これを集約した結果、この申請書にもある緊急時の通報装置や救急医療情報セットを持っている人がほとんどいない。私どもの登録で 23 名だったのですが、その中で連絡装置を持っているのは 1 件だけでした。

これではせっかく行政の方で一生懸命 PR 活動をしているが不足だということで、救急連絡装置の希望者を募る通知を今、募集しているところです。

そのようにして希望者に募り、希望者にはすぐ配置できるような処置をとっていきたいと考えています。

(岩田委員) 災害時の名簿は作成しますというお知らせは、各地区の区長宛てに出していて、どのようなところに説明をされているのか。

例えば社協の救急医療キットについて、小地域ネットワークで取り組んでいる地域とか老人会でまとめて、とかあるのですが、回覧板だと素通りが多いのです。

老人会などの団体に説明すると内容を理解して加入してくれる人が多いと思うけど、回覧では後でフォローする人が必要になる。この災害時もその通りだと思います。実際に必要な方は書くことができないし、読むのも面倒だと思います。

(町長) 高齢化がすごく進行しているなか、買物難民の問題も含め、商工会や農協、あるいは全般的に皆さん方の意見を生かして政策としてどのようなことが出来るか、議論をしていきたいと思っています。

町が全面的に出てということではなく、高齢者ネットワークという意味で地域住民が生活しやすい仕組みをどのように作っていくかということが基本的な考えです。

今話したことを含めて災害に備え名簿作成します。皆さんにわかりやすく、しかも理解しながらその中で生活しやすいようにどのように結びつけていくか。このようなことをぜひ考える機会を皆さんと相談する機会をつくりたいと考えています。

(岩田委員) 救急通報装置ですが、有料になったために携帯電話で押せば消防に通じるというこ

とで通報装置を置かなくてもという人は多いと思います。

## 6. その他

(松本係長) 前回の会議の中で、今後の地域住民の足の確保を行うため、地域公共交通会議を立ち上げて町営バスなどを検討するという事で説明しました。

地域住民の足という議題についてはこの懇話会でも議論をいただきたいと考えてますし、そこで出た意見を公共交通会議という組織に、また公共交通会議で出た意見をこの高齢者支援ネットワークにもお伝えしながら計画の方を策定していくという事で、説明をさせていただいたところです。

そこで、これから公共交通会議という組織を立ち上げるにあたり、この懇話会から1名を委員として選出をしていただきたいと思っています。

(町長) 昨日町民委員会があり、町民委員会の中からも1名出ていただくということになりました。最終的はやはり仕切っている座長さんが皆さん方の意見を集約していただいて、論議をしていただくということが一番いいだろうという話になり、昨日もその様になりました。

(座長) それでは、私がやらさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

(山本委員) 今、街灯をLEDに順次取り替えていくことになっていますよね。取り付けを縦でなくて横につけられないかなと。非常に明るくていいのですが、光線が一直線でランプの下だけ明るくて、今までの街灯から見ると幅の明るさというのが極端に落ちたように感じます。ですから電柱に横につけたら明るさが広がるのではないかなと見てます。

(大津課長) 今年も換える予定なのですが、電気屋さんとも相談して、横の方が明るくなると思いますので、検討させていただきたいと思います。

## 7. 閉会

(座長) 大変長時間に渡りまして貴重なご意見をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。皆様のご意見を取り入れ、秋に向けて建設が始まるということなので大変期待のすることです。

また、お気づきの点がございましたらまたそれぞれ意見を伝えていただきたいと思っています。本日はどうもありがとうございました。